

東日本大震災復興支援プロジェクト

第28回活動報告



1. お米や産直野菜がもれなく当たる福引きは大盛況。 2. 四中を卒業したばかりの学生も春休みを利用して参加しました。 3. 地元の子供たちとの「ぼたもち」作り体験。
4. 親子連れなど多くの方が会場に足を運んでくれました。 5. 作業終了後は沿岸部を散歩して、慰霊碑に手を合わせました。

『JA鶴岡春まつり』開催
多くの人でにぎわいました

今年度7回目（通算28回目）となる復興支援活動を3月29日、初参加者4人を含む総勢12人が参加して、宮城県東松島市で実施しました。

今回は当JAの労働組合との共同開催で「JA鶴岡春まつり」イベントを企画。地元の子供たちと一緒にぼたもち作りをしたり、産直館の新鮮野菜や生産者から提供されたお米が当たる福引き大会などで交流しました。

3年ぶりに当プロジェクトと再会したという現地の女性は「被災直後にJA鶴岡の皆さんがここにきてくれて、あきらめていた畑を復旧してくれました。以来畑仕事を楽しみにやってこれた。再会できた時に必ず見せたいと思って、ずっと持ち歩いて」と、2011年に収穫したキャベツの写真を見せてくれました。現地の方々は「これからは皆さんに恩返しをする番だ」と口を揃えます。その言葉に希望を感じることができました。プロジェクトは残り2回の予定です。

【参加者】鈴木大亮（総合戦略室）、佐藤浩市（経理システム課）、堀部文彦（共済課）、難波俊幸（米穀畜産課）、佐藤拓哉、佐々木健祐、清嶋夏希（園芸特産課）、百瀬琢寛（農業支援室）、瀧本啓（産直課）、長谷川篤夫（大泉支所）、阿部真、佐藤莉菜（北支所）以上12人